

大自然の中、知恵と勇気と発見の3日間

◎冒険学校！2022



8月2日から4日までの3日間、成川渓谷で「冒険学校！2022」が行われ、町外から約50人の子どもたちが参加しました。

渓谷の大自然の中、沢登りやピザ作り、班ごとのステージパフォーマンスなどに挑戦した子どもたち。夜はキャンプファイヤーを見つめながら、鬼北での夏のひと時に思いを巡らせていました。

コロナ禍の影響で、3年ぶりの開催となった冒険学校。マスクや手指消毒が欠かせない中でも、子どもたちは協力し合って自然と向き合い、「楽しむ力」を身に付けていました。

各地で水害多発の夏、備え万全に

◎鬼北町消防団夏季訓練



7月31日、町内各所で鬼北町消防団夏季訓練が行われました。

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、3年続けて各部ごとでの実施となった夏季訓練。分団全体での訓練ができない分、各部に配備された車両・ポンプ・発電機などの点検、操作の確認を入念に行いました。また、町内各所に設置された消火栓の点検や、台風シーズンに備えた土のう作りも実施。団員たちはいつ起こるか分からない災害に対して、平時の備えを万全にしながら、防災への意識を高めました。

住民と議会、協働のまちづくりを目指して

◎「近永駅のあり方を考える」住民懇談会



8月2日、町議会主催の「近永駅のあり方を考える住民懇談会」が、近永公民館で開催されました。

初めに、令和元年にスタートさせた「近永駅周辺賑わい創出事業」について、役場企画振興課からの説明があった後、6月議会で近永駅舎建て替えの予算を否決したことについて、議会から経緯を説明。その後、住民と議会との意見交換が行われました。

予算の否決に対して、地域住民からは厳しい意見が出される場面もあり、参加者たちは地域の未来を真剣に思いながら、熱い議論を交わしていました。

【議会の考え】

- ▶ 駅舎の建て替え自体に反対ではない。
- ▶ もう少し議論を深めて、全国に誇れる町のシンボルとなるような素晴らしい駅舎にしたい。
- ▶ 高校生からの提案にもあったように、鬼をデザインした建物や、鬼の造形物を展示できる建物にすれば、SNSで発信できるし、全国から人を呼べるのではないかな。
- ▶ 建て替えてしまえば、10年20年は建て替えることができない。1億6,000万円かかる建て替えなので、できるだけ後世につながる形にしたい。

【地域住民の声】

- ▶ 高校生・地域住民・行政が一体となって盛り上げている素晴らしい企画。反対しないでもよかった。
- ▶ 3年前からワークショップなどを行っているが、議員の参加がなかった。今後は参加してもらい、地域の意見を聞いて前向きに考えてもらいたい。
- ▶ 全国から人を呼ぶことは簡単ではない。いつまでも議論に時間をかけていても、手遅れになる。妥協点を見つけて、駅舎建て替えを行う時期ではないかな。

芝照雄議長は「今日の意見も踏まえて、住民の皆さんの納得できる形になるように、また利用したいと思っていただけるような駅舎になるように、前向きに議論を進めていきたい」と締めくくりました。